

地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」表彰事例の発表 ～ 近畿管内の事例が地域サービス創生部門賞に決定 ～

総務省は、地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」表彰事例の募集を平成 27 年 10 月 9 日から 11 月 13 日まで行い、全体で 85 件の応募がありました。

これらについて審査を実施した結果、近畿総合通信局管内からは、NK アグリ株式会社の『地域をつないで一つのバリューチェーン「リコピン人参プロジェクト」』が、地域サービス創生部門賞に決定しましたのでお知らせします。

1 「地域情報化大賞 2015」の概要

我が国が抱える様々な課題（人口減少、少子高齢化、医師不足、災害対応、地域経済の衰退等）を解決するため、それぞれの地域において様々な取組がなされています。

総務省では、これらの地域課題の解決に資する ICT（情報通信技術）の利活用を普及促進していくことを目的として、地方創生に資する先進的な地域情報化事例を広く募集し、表彰を行っています。

2 応募状況

応募総数 85 件（全国）

- | | |
|---------------------|------|
| （1）地域活性化部門（公共部門） | 58 件 |
| （2）地域サービス創生部門（民間部門） | 27 件 |

3 表彰事例

地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」として、近畿総合通信局管内における事例からは、以下の表彰が決定されました。

地域サービス創生部門賞

『地域をつないで一つのバリューチェーン「リコピン人参プロジェクト」』
（NK アグリ株式会社（和歌山県和歌山市））

4 表彰式

表彰式は、平成 28 年 3 月 9 日（水）に東京都内で開催される『シンポジウム「地域 ICT サミット 2015」』において実施される予定です。

《 受賞内容 》

地域サービス創生部門賞となった、『地域をつないで一つのバリューチェーン「リコピン人参プロジェクト」』は、NK アグリ株式会社が通常の人参より高含有のリコピン人参「こいくれない」を育成、栄養価と相関性のある環境条件を解明し、IoT 環境センサーを設置することにより複数の産地でも導入可能とする収穫時期予測システムを構築。このシステムにより地域の生産者の経営安定化に寄与し、地域間の共創環境を創生するもの。

参照：NK アグリ株式会社：<http://www.nk-agri.co.jp/>

関連報道資料

- ・ 地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」表彰事例の募集（平成 27 年 10 月 9 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000069.html
- ・ 地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」表彰事例の発表及びシンポジウム
「地域 ICT サミット 2015」の開催（平成 28 年 1 月 22 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000103.html

<p><連絡先>情報通信部 情報通信振興課 (担当：松山、山崎) 電話：06-6942-8520</p>
--